

(トップページ：<http://members3.icom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(「写真は語る」シリーズ：<http://members3.icom.home.ne.jp/3632asdm/PhotoEssay.html>)

(サウジアラビア：<http://members3.icom.home.ne.jp/3632asdm/SaudiArabia.html>)

マイライブラリー：0188

2011.7.10

前田 高行

写真は語るシリーズ：家政婦虐待事件が外交問題に発展



写真は Blood Money(赦免金)2 百万リアルで死刑を免れたインドネシア人メイド

サウジアラビアの中流以上の家庭の殆どに家政婦(メイド)がいる。少し余裕のある家庭なら運転手も雇っている。メイドはインドネシア人、運転手にはフィリピン人が多い。サウジアラビア全体では百万人以上のインドネシア人メイドがおり、また 18 万人のフィリピン人運転手がいると言われる¹。

彼ら或いは彼女らは劣悪な労働環境と安い給料で酷使されている。劣悪な環境とは物理的な意味だけではなく雇い主による虐待も多い。サウジアラビアにおいて DM(Domestic Violence, 家庭内暴力)と言えば通常メイドや運転手に対する暴力のことである。特にメイドの場合の虐待は主婦やその家族から日常的に暴力を受け、時には男の家族から性的暴行を受けることが少なくない。家庭と言う閉鎖空間のため事件が表沙汰になることはなく、殆どの場合被害者の泣き寝入りに終わる。しかし時として行きすぎた暴力に対してメイドが絶望的に反抗し、雇い主を殺すケースもある。

Dawud(写真の女性)もそのような一人である。西ジャワ Subang 出身の Dawud は 2009 年に雇い主を殺し死刑判決を受けた。しかし最近別のメイドの死刑が執行されたことが伝えられ、これに抗議するジャカルタ市民がサウジアラビア大使館にデモを行った。事態を憂慮したインドネシア政府は次に死刑執行を予定されていた Dawud について 200 万リアルの Blood money(殺人赦免金)を払って彼女を救い出した。

イスラム社会では「目には目を、歯には歯を」の掟があり、殺人犯に対しては死刑(かつては復讐の私刑)を課す社会慣習がある。これに対し何とか加害者を救いたいと願う親族は、被害者の親族に相当の金を支払い実刑を免除してもらう制度がある。これが Blood money(赦免金)である。加害者が裕福であれば可能な話であるが、貧しいが故に出稼ぎに来ているインドネシア人メ

ードの場合、Blood Money を支払う余裕は無い。こうして数多くのメードが人知れず死刑で命を失っている。

メード達の劣悪な労働環境と後を絶たない雇い主の暴力行為に対して、これまでも Human Rights Watch などの国際的な人権団体が問題を提起してきたものの、そのレポートがまともに取り上げられることはなかった。ところがインドネシアなど東南アジアの国々も少しずつ豊かになり、自国民が海外で受ける迫害に敏感になり始めた。海外出稼ぎ者の送金は各国を潤し、家族の生活を支えているのは今も変わらないが、出稼ぎ先の悲惨な状況に目をつぶることができない時代になりつつある。現在サウジアラビアで死刑宣告を受けているメードは 28 人にのぼり²、政府も国民も現実を直視せざるを得なくなったのである。

インドネシア政府は派遣する自国民のメードを保護するため、リクルート企業に対して住み込み予定先のサウジ人家庭の家族構成や家の間取りの調査を義務付けた³。しかしサウジ人雇用主がプライバシーの開示を嫌いメードのリクルートがストップしている。サウジ政府とインドネシア政府の協議が続けられたが、国民の声に押されたインドネシア政府はついに 8 月 1 日以降はメード派遣ビザを発給しないと宣言した⁴。

同じ頃フィリピン政府とサウジアラビア政府の間でも同様の協議が行われた。こちらは出稼ぎ者の給与遅配の問題である。インドネシア以上に権利意識の高いフィリピン政府もサウジに対する労働者の派遣を停止した。

サウジアラビア政府とインドネシア及びフィリピン政府との交渉は難航している。しびれを切らしたサウジ政府は報復手段として両国からのメード及び運転手に対するビザの発給を停止すると発表した⁵。サウジ政府はメードや運転手は他の国からリクルートできると豪語している。

関係政府のいずれも振り上げたこぶしを下ろすことができずこまっているのが実情である。インドネシア人メードやフィリピン人運転手がいなくなればサウジ人の家庭がすぐに困ることは目に見えている。サウジ人の家庭では今やメードと運転手なしでは成り立たない。しかもまじめで使いやすいインドネシア人やフィリピン人をスリランカやスーダンなど他国の出稼ぎ者に換えることは問題が多い。もし代替りのメードや運転手が見つからなければ現在雇っている彼らの給料をあげざるを得ない。既に一部のメードは雇い主に給料アップを迫っている。サウジ人の主婦達は悲鳴を上げているのである⁶。

一方のインドネシアやフィリピンにとっても国内の失業率が高い現状ではサウジアラビアへの出稼ぎは一家を支える貴重な収入源である。それぞれの政府も個人も円満な解決を望んでいるのであるが働く者の人権という命題を前に解決の妙案はなさそうである。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

¹ Arab News on 2011/6/30, 'No more work visas for Filipino, Indonesian domestics'
<http://arabnews.com/saudiarabia/article464001.ece>

² Arab News on 2011/6/26, 'Indonesian mad saves from execution',
<http://arabnews.com/saudiarabia/article461617.ece>

³ Arab News on 2010/12/13, 'After anti-Saudi campaign, Kingdom seeks to reduce dependence on Indonesian maids'
<http://arabnews.com/saudiarabia/article214054.ece>

⁴ Arab News on 2011/6/23, 'Indonesia suspends recruitment for Saudi jobs',
<http://arabnews.com/saudiarabia/article459790.ece>

⁵ Arab News on 2011/6/30, 'No more work visas for Filipino, Indonesian domestics'
<http://arabnews.com/saudiarabia/article464001.ece>

⁶ Arab News on 2010/12/1, 'Worker abuse is part of a bigger problem, expert say',
<http://arabnews.com/saudiarabia/article204805.ece>